

授業科目	* 公衆衛生学				実務家教員担当科目	-					
単位	2.	履修	開講年次	2	開講時期	前期					
担当教員	藤和 太										
授業概要	公衆衛生学とは組織された地域社会の努力を通して、疾病を予防し、寿命を延長し、身体的・精神的機能の増進を図る科学であり、技術である。社会福祉士、養護教諭、看護師、栄養士、保健師および医師はその組織された地域社会の一員であり、当事者でもある。本科目では、公衆衛生学の歴史、健康の概念と健康管理、疫学方法論、疾病予防、環境と健康、母子保健及び学校保健など各種保健、医療制度、衛生行政および社会保障の知識について解説する。また、基本的な保健統計及び疫学手法を解説し、医療健康情報の分析と判断ができるよう実践演習を行う。										
授業形態	講義	授業方法	スライドによる説明とプリント配布（Classroomを利用）。毎回授業後小テストを行い、ディスカッションによって理解度を測る。								
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 公衆衛生学の概念、公衆衛生の歴史を理解し、自分の言葉で説明できる。（DP1-2）</li> <li>2. 健康の概念、生活習慣病予防、環境と人間社会の関係を理解し、他人に説明できる。（DP2-1）</li> <li>3. 日本における医療行政、社会保障制度について理解し、他国の公衆衛生システムと比較できる。（DP3-1）</li> <li>4. 看護師、養護教諭および栄養士・管理栄養士に求められている立場を理解し、疾病予防および健康増進に対する役割を説明できる。（DP4-1）</li> </ol>										
理想的レベル	標準レベルに加え、最新の公衆衛生問題に関心を抱き、各々の問題について、疫学統計の視点から説明できる。										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合（数値）				備考						
試験	85%										
小テスト	15%										
レポート											
発表（口頭、プレゼンテーション）											
レポート外の提出物											
その他											
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	NT11101J
学習課題（予習・復習）										1回の学習目安（時間）	
次の授業内容について教科書を読む。授業で示された図書や文献などを調べ、疑問点などをまとめる。										4	
授業計画											
第1回	テーマ：公衆衛生学序論（藤和） 公衆衛生学概念・歴史、健康の概念										

第 2 回	テーマ：保健統計（1）（藤和） 健康水準・健康指標
第 3 回	テーマ：保健統計（2）（藤和） 人口統計、国際比較
第 4 回	疫学 1（藤和） 疾病の分類、疾病量の把握、疫学の分類
第 5 回	テーマ：疫学 2（藤和） 相対危険、オッズ比など疫学統計計算
第 6 回	テーマ：疾病予防と健康管理（藤和） スクリーニング、健康日本 21（第 2 次）
第 7 回	テーマ：主な疾患の予防（1）（藤和） 感染症予防
第 8 回	テーマ：主な疾患の予防（2）（藤和） 生活習慣病及びその他の疾病
第 9 回	テーマ：環境と健康（藤和） 上水道、下水道、廃棄物処理、公害
第 10 回	テーマ：環境と食品衛生（藤和） 食品の安全性、食中毒
第 11 回	テーマ：保健医療福祉制度と地域保健（藤和） 衛生行政、福祉制度、医療費、地域保健
第 12 回	テーマ：母子保健・学校保健（藤和） 母子手帳、新生児死亡率、学校伝染病予防
第 13 回	テーマ：精神保健・産業保健（藤和） 精神障害の現状と動向、労働衛生管理、自殺予防
第 14 回	テーマ：高齢者保健と国際保健（藤和）

	介護制度、人種と保健、国際保健機関
第 15 回	総合演習(藤和) 講義の内容をカバーした演習問題を解き、説明する。
テキスト	「公衆衛生学」の成書： 「シンプル衛生公衆衛生学 2024」 南江堂
参考図書・教材 ／データ ベース・ 雑誌等の 紹介	国民衛生の動向、図説「国民衛生の動向」、 厚生労働省ホームページ情報 公衆衛生ねっと 公衆衛生がみえる
課題に対するフィードバックの方法	小テストの内容については、授業中で指示する 小テストは次の授業で質疑応答してから解説する。
学生へのメッセージ・コメント	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 公衆衛生学は国家試験問題の出題比率が非常に高く、重要な科目である。</li> <li>2. 教科書を事前に予習し、授業後は小テストや関連国家試験問題を試して、授業内容を復習する。</li> <li>3. 公衆衛生学では、教科書をよく読むことは将来の国家試験対策に非常に役に立つ。</li> <li>4. 医療制度改革の動向など最新の公衆衛生問題に注視し、インターネットや雑誌などで検索して確認することは大切なことである。</li> </ol>